

# ぎのぎ

あなたと議会を結ぶ情報誌

## 議会だより

平成31年(2019)

発行/2月22日

# No.130

平成30年第8回臨時会・第9回12月定例会 平成31年第1回臨時会



こちゃスマイルクラブ  
(松寿会にて魚釣りゲーム)



宜野座キッズクラブ  
(夏休みバスツアー読谷村にて)



漢那区ハッピーニコニコクラブ  
(下校時集合、ナイススマイル!!)



惣慶区子ども園  
(楽しいクリスマス会)

安全で安心・楽しい・心地よい居場所  
ほっとできて、落ち着ける「家」と同じところ

## 宜野座村放課後児童健全育成事業

(放課後児童クラブ)

### 目次

- 平成30年第9回12月定例会(7名の議員一般質問)……………P.2~9
- 平成30年第8回臨時会、第9回12月定例会  
平成31年第1回臨時会等の議決結果・「特集」……………P.10~11
- 議会議員研修会など……………P.12



■発行：宜野座村議会

■編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1392 沖縄県宜野座村字宜野座296番地 電話(098)968-8326

# 我が村政を問う

12月定例会では、7人の議員が16件の ※一般質問（施政方針に関する質問含む）を行い、活発な議論を展開しました。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人30分以内で、答弁時間は含まない。質問した議員は自ら原稿をおこし、それを掲載しています。（1人1ページ）

詳しくは各区公民館、村文化センター図書館に配布される議会会議録又は、村ホームページから、議事録をご覧ください。

## 1) 一般質問とは??

村政全般にかかわるさまざまなテーマについて、村の方針や村長の考え、事業の計画や詳細、効果など村民の生活にかかわる多岐にわたった内容を問いただすこと。議員にとって一般質問は、もっとも華やかで意義のある発言の場であり、住民から重大な関心と期待を持たれる**大事な議員活動**です！

### 伊芸朝健 議員 (P3)

- 一、宜野座村観光拠点施設の管理運営について
- 二、公共施設等の計画的な運営について
- 三、沖縄県立農業大学校本村への決定について
- 四、森林法、保安林、防風林、防潮林の解除について

### 當眞嗣則 議員 (P4)

- 一、教育研究所の設置について
- 二、沿岸・干潟・河川の現況調査について
- 三、防風林・防風垣の整備計画について

### 津嘉山朝政 議員 (P5)

- 一、選挙公報の実施について
- 二、農業大学の誘致について

### 眞栄田絵麻 議員 (P6)

- 一、沖縄県知事選について
- 二、県民投票について
- 三、冠婚葬祭の簡素化について

### 仲間信之 議員 (P7)

- 一、宜野座村地域防災計画について

### 山内昌慶 議員 (P8)

- 一、リバーパーク事業の導入目的について
- 二、辺野古新基地建設の是非を問う県民投票について

### 平田嗣義 議員 (P9)

- 一、村づくりについて



## 宜野座村観光拠点 施設の管理運営

**問** 現状と課題について。

**答** 村長

施設の入込客数は、11月末日現在で約43万人、想定を上回る状況。気温の低下等に伴い、水遊び広場の利用が減っているが、依然大型遊具の利用や広場の有効活用などで多くの来場がある。課題として、来場者の平日の集客アップ及び冬場の集客をどのように図っていくか、観光協会を含め、人材不足が深刻でカヌー体験は実施できていない状況。人材を確保し、カヌー体験の受入れを自主事業として展開できるように取組んでいる。

**問** 宜野座村特産品アイデア応援奨励事業の結果は。



伊芸 朝健 議員

**答** 村長

応募件数8件のうち、3点の作品が優秀賞に選ばれ、宜野座村祭りにて表彰。選定された作品に10万円の奨励金を授与。特産品として広く宜野座村をアピールできるような活動していく。

**問** 今後新たな事業展開は

**答** 村長

「ぎのぎワンダフルFriday2018」と銘打って、毎週金曜日に、イベントを展開した。タイガースファンから要望の多いグッズの充実に向け、作成することで年間を通じた誘客と、協会の自主財源の拡充を図っていききたい。

## 公共施設等の 計画的な運営

**問** 公共施設等の総合的な管理計画の策定は。

**答** 村長

平成29年3月に宜野座村公共施設等総合管理計画を策定、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点を持って計画的に更新、統廃合、長寿命化などを行うことで、財政負担の軽減、平準化につながることを目的。

**問** 多目的スポーツ施設整備事業の現状と問題点。改定契約の議会への報告は。

**答** 教育長

台風等の影響による工期の遅れその他に關しての問題は発生していない。施設は12月7日に完成。本体工事の請負改定契約を2回行って、1回目は請負契約に200万円以上の変更、平成30年3月議会で議決。2回目は工期のみの改定契約を行い、契約金額に変更がないため、議会への報告に該当しない事実と解しており、決算審査特別委員会現地調査時に工事延長の改定契約について説明。

**問** ふれあい交流センター（中央公民館）事業計画は。

**答** 村長

平成29年度までに6億5932万5000円積立。平成29年度末より、関係機関と協議を進め、役場横の敷地へ移設する計画。

## 県立農業大学校 本村への決定

**問** 施設整備に向け対応は。

**答** 村長

平成30年8月31日に本村に決

定。次年度に基本計画、真平原の現状等の事前調査に入っている。

**問** 用地整理の問題点は。

**答** 村長

入会権の有する土地で、松田区と調整。草地の代替地を先行取得するため、基金取り崩しを行う予定。供用開始は2024年。

## 森林法、保安林、防風林、 防潮林の解除

**問** 管理及び責任と損害保障は。

**答** 村長

土地所有者が管理、賠償しなければならぬ。

**問** 解除は可能か。

**答** 村長

保安林の公益性と公共事業の比較により、保安林解除可否が決定される。

## 教育研究所の設置

**問** 名護市を含めた北部広域市町村では、以前から研究所の設置が計画されているとのことだが、現状は。

**答** 教育長

教育研究所の設置については北部12市町村では、以前から共通の課題として人材の育成、学力の向上、そのための教師の指導力向上のための北部圏全域での一貫研修の必要性等が上げられてきた。今年度より、北部連携促進特別振興事業を活用し、名桜大学に業務委託という形態で、北部教育センター実証実験事業の実施が予定されている。



議員 則 嗣 眞 當

## 沿岸・干潟・河川の 現況調査

**問** 沿岸・干潟・河川の環境調査は漁業、観光の振興に限らず子ども達の地域への愛着に多大な影響を及ぼすと言われている。大学や研究機関とタイアップし調査研究が出来ないか。

**答** 村長

望ましい河川環境に改善することにより多様な河川生物の生息域と河川と人との触れ合う環境が再生すると考えている。人と自然環境のより良い環境を取り戻しつつ豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくことは、観光資源になり地域活性化に繋げる上でも重要な課題として認識している。宜野座福地川、漢那福地川、ギンバル川を含めた3河川と潟原干潟の環境基礎調査を実施し、河川・干潟などの問題点、課題を抽出し、地元の方々の要望も確認し整備の方向性を踏まえながら基本構想、基本計画、実施設計などを作成する必要があると考えている。



宜野座福地川の改善を！！（写真提供 広報）

## 防風林・防風垣の 整備計画

**問** 平成30年は、台風24・25号の襲来で農作物への多大な被害があった。防風対策の基本である防風林・防風垣の植え付け・育成計画を策定する計画はないか。

**答** 村長

これまで村の防風林事業は、平成20年度から25年度の松田東地区平成23年度から27年度完了の松田西地区を整備している。宜野座北部地区と惣慶地区については、農

家の同意が得られず、現在、事業休止の状況。現状としては、事業で導入した防風林帯は、土地改良区と連携し、維持管理を行っているところだが、除草などの維持管理の問題に加え、樹木の成長の遅さなど、課題として認識している。新たな育成計画などの策定については、今後も土地改良区並びに防風林帯に隣接する農家の要望等も踏まえ、防風林帯施設の整備、適切な維持管理について協議するとともに、計画の策定の必要性についても検討していきたい。



防風林・防風垣対策を！（写真提供 広報）



## 選挙公報の実施

**問** 「民意」についてどのようにお考えか。

**答** 村長

住民の意思のことで、それに沿った政治が行われるのが民主主義であると理解する。

**問** 今回の本村村議選挙の投票率は前回に比し10・09ポイントの減少。県内最大の下げ幅である。この事実をどう受けとめているか。

**答** 村長

最後まで無投票の公算が続いた等の理由が挙げられるが、行政に対する関心が薄くなっていると懸念している。



津嘉山朝政 議員

**問** 候補者の政治理念や姿勢、明確な政策を村民は求めていると読みとれる。選挙公報の発行が有効であると考えるが。

**答** 村長

経費上問題ない。どのように配布するかが一番の課題。費用対効果の面からも選挙活動は議員各位それぞれにできる事を充実する方がよい。

● 選挙公報は、候補者の政策等への理解が深まり、村民に具体的な判断材料を提供することができる。村民の行政への関心を高めるのに選挙公報の意義は大きい。考え直して頂きたい。

**問** 新聞記事によれば、前回の知事選挙で、佐喜眞候補は宜野座村の子ども達の生命の安全に言及しなかった。つまり無視した。彼を支持した村長は、新基地が建設された場合、子ども達の生命、安全、未来をどう守るのか。

**答** 村長

私なりに基地問題には取り組んできた。いろいろ考えることもあ

るが、国と県が係争中であり、その動向を注視して対応する。

**問** 佐喜眞氏支持の17首長の中で、彼の政策で何を重視するかを答えていないのは石垣市と宜野座村だけである。なぜか。

**答** 村長

新聞社アンケートには「すべての政策を重視する必要がある」との内容をコメントしたと記憶している。

**問** 新基地建設には「どちらとも言えない」という立場だが、新基地が建設された場合、本村のデメリット、メリットは。

**答** 村長

騒音、渋滞、基地に絡む事故事件の発生。メリットとしては、雇用の増加、経済面のプラス。

**問** 県民投票を実施しないことは民意を示す機会を奪うことだと考えるが、村長の考えは。

**答**

議員も民意によって選ばれており、議会も尊重すべき。他地域に

ついて言及する立場にない。

**問** 新基地建設予定地に隣接する地域の長として、いつまでも態度保留ではいけない。明確な立ち位置を村民に示してほしいと要望する。

## 農業大学誘致

**問** 用地について、買取か借地か、交渉中か。

**答** 村長

松田区は借地を希望。決まっていないのが現状。

**問** 平成27年2月以降、畜産農家との話し合いが無く不信、怒りを招いているが。

**答** 村長

話し合いを持たなかったのではなく、県のほうの取り組みに停滞があり、結果としてはそうだった。

● 県、村、松田区、畜産農家。込み入った事情があるが地域住民の一人として円満解決を望んでいる。そのための努力を希望する。

# 沖縄県知事選挙

**問** 村長が支援した佐喜眞氏の争点とは。

**答** 村長

県政全般、福祉、子育て、産業環境、基地、総合的なものが争点だと認識している。

**問** 県民の争点は、辺野古新基地建設は反対であるが、総合的判断のもと佐喜眞氏の政策の魅力、共感した政策は。

**答** 村長

北部市町村会の会長、自治体の長としての立場もあり、争点というのは県政全般だと思っている。地域の課題解決のためには、国とも連携を取りながら仕事をしていくべきだと認識している。



眞栄田絵麻 議員

**問** 建設予定地に隣接する地域の首長として、いつまでも態度を先延ばしできるものではない。任期中に態度を明確にする意思はあるのか。

**答** 村長

国と県がもめている状況の中で、今後も注視しながら対応する。

## 県民投票

**問** 自治体が住民の生活を守る立場から意思表示する権利を閉ざしてはならないが見解を。

**答** 村長

住民の署名を集めて正式な手続きで県民投票となっているので施すべきと思いつ算計上している。

## 冠婚葬祭の簡素化

**問** 村民の経済的安定を図る事を重要な課題と捉えて、全村民が問題意識を持ち、生活から無理無駄見栄をなくす事を決意し、改善に協力し取組んでほしい。平成13年度に新生活運動推進協議会の活動は。

**答** 総務課長

各種団体のメンバー、村の3役

**問** 協議会は全員で何名か。

**答** 協議会は全員で何名か。

**問** 協議会は全員で何名か。

**答** 協議会は全員で何名か。

**問** 平成13年にチラシの配布を団体でやったのか。

**答** 総務課長

協議会で配布した。

**問** 平成13年にたった1回だけ配布したのか。

**答** 総務課長

平成13年9月の1回限り、その後各区の取り決めで配布していることを確認している。

**問** 推進協議会でまとめて各区に配布し取り決め、簡素化を徹底してほしいが。

**答** 総務課長

簡素化の運動については、区長会にも、今後どうするかと確認し看板が各区全部そろっているのか

**問** 取り決めされた、盛り塩、看板の徹底、チラシなどの周知徹底、香典返しの廃止、早急に協議会を開いて力を入れていただきたい。

**答** 総務課長

区長会の意見を聞きながら対応していきたい。

## 宜野座村 冠婚葬祭簡素化運動(目安)

行政区	お歳暮 お中元 お年玉	祝 い 事					告別式 法 事	備 考
		小学校入学	合格祝い	出産祝い	新築祝い	生年祝い		
松田区	1000円以内	1000円	1000円	2000円	2000円	2000円	1000円	チラシ配布 封筒有り
宜野座区	1000円以内	1000円	1000円	2000円	2000円	2000円	1000円	チラシ配布 封筒有り
惣慶区	1000円以内	2000円	2000円	2000円	3000円	2000円	1000円	チラシ配布 封筒有り
福山区	1000円以内	2000円以内	2000円以内	2000円以内	2000円以内	2000円以内	1000円以内	チラシ無し 立看板のみ
漢那区	1000円以内	1000円	1000円	2000円	2000円	2000円	1000円	チラシ配布 封筒有り
城原区	1000円以内	2000円以内	2000円以内	2000円以内	3000円以内	3000円以内	1000円以内	封筒なし

(資料提供 広報)

# 宜野座村地域 防災計画

**問** 平成25年3月に宜野座村地域防災計画が策定されています。その取り組み状況について。

**答** 村長

村では防災予防、減災、防災意識の普及啓発として、避難行動要支援者名簿及び地図を作成し、全世界帯へ防災マップを配布し、避難誘導路、避難場所の周知、また、自主防災組織育成のための支援も行っており、平成29年12月には漢那区自主防災会が設立。災害時の応急対策を迅速に行うために、村建設業者会と災害時応急対策業務協定を締結しており、今年の台風



仲間 信之 議員

24号の災害普及に協力をいただきました。災害時の一時避難場所としての公園整備を実施し、宜野座区の古島公園、惣慶区の並松公園松田区の高松公園が整備済み。現在福山区において公園整備を進めている。災害時の避難路についても、漢那区で要望のある村赤平線の整備を進めている。

**問** 自助・共助・公助、最近では、この公助が協働という言葉に変わってきている。漢那区では平成29年、自主防災組織を立ち上げた後

年2回非難訓練を筆頭に清掃作業の後には、防災というのは津波、地震だけではありませんので火事とかいろいろあります。そこで防災士という民間の認定の資格があります。現在、全国で16万人の方が、認定を受けられている。個人負担です。受講料等が約6万1000円掛かる。村が負担してという意味ではなく、各地域で意識のある人が集まり50名以上で、講師を呼んで村で出来る。危機管理意識を常に持つってもらう民間のレベルを上げるための資格。何か協力

できるものはないか。

**答** 村長  
必要性等も含めて調査をしている段階。内部で検討する。

**問** 漢那区は村人口の5分の1で、村内外からの来場客も多いという流れで、ぜひとも早い段階で防災タワーを作ってほしい。検討、研究してやっていただきたいが。

**答** 村長  
漢那区とも協議をしながらやっていきたいというのがありますので、漢那区の中で協議をしていただき、どこ場所がいいのかというところで議論を深めていただければと思います。

**自助とは？**  
災害の際、自らの身は自分で守る。普段から災害に関する知識を身につけ、自分と家族を守る。助けるのはあなた自身です！ **救助率約7割**

**共助とは？**  
住んでいる地域を自分たちで守る。

例えば、自主防災組織を結成し、防災訓練等を通して災害に備えましょう！ **救助率約2割**

**協働とは？**  
地方公共団体（消防・警察含む）消防団、自衛隊など **救助率約1割**



久高島 津波避難施設防災タワー

**【防災士とは？】**  
社会の様々な場で、減災と防災力向上のための活動が期待され、その為の十分な意識・知識・技能を有する者として認められた民間資格である。



## リバーパーク事業の 導入目的

**問** リバーパーク等整備検討委員会で年間を通しての集客も検討したと思うが実際は。

**答** 村長  
年間20万人の利用者数の設定を行っている。11月末現在で予想を上回る約43万人となっている。

**問** 集客による収益で、村民へどのような形でメリットとなったか。

**答** 村長  
生産者の所得向上に資している。未来ぎのぞ、観光協会、両社とも雇用が増えている。

**問** 駐車場のあり方について、どのような考え方がか。

**答** 村長  
国道329号と旧国道との間、道の駅周辺を全てゾーン化して、計画していく。

**答** 企画課長  
旧国道から内側、観光拠点施設があるエリアをリバーパーク基本構想の中に入れて事業化を目指したいと考えている。

**問** 観光拠点施設には、何ヶ所事業所があり、ゴミは誰が焼却場に運んでいるか。

**答** 村長  
3つの事業所が入居。ゴミは、各事業所が未来ぎのぞに負担金を支払い、一般廃棄物収集運搬許可業者に外部委託して対応している。

**問** 冬場にも来られるような施設は出来ないか。

**答** 村長  
施設の充実に向けて取り組んでいきたい。

**問** 村全体への波及効果というのはどういふのがあるか。

**答** 村長  
地域の皆さんの商品や農水産物売上げアップすること。

**問** 鍾乳洞の平成27年から今年までの資料の中で見ると全然変わっていない。お客さんが鍾乳洞に行っていないというのはどういふことか。

**答** 観光商工課長  
平成29年度と30年度の数値があるが、11月段階で平成29年度と同じ数値となっている。鍾乳洞についてもかなりアピール効果があるものと考えている。

**問** 金武町と連携し、金武町にある観光施設等を見せる仕事も出てくるのではないか。

**答** 村長  
連携できる部分はしっかりやり両町村で盛り上げていけるところは盛り上げていきたい。

## 辺野古新基地建設 の是非を問う 県民投票

**問** 県民投票について、村長はどのような考えか。

**答** 村長  
本村においても県民投票実施に向け、本議会で上程している。



未来ぎのぞの駐車場の様子



山内 昌慶 議員





平田 嗣義 議員

## 村づくり

**問** 花の村づくり運動は。

**答** 村長

村では、花の村づくり推進協議会を設置し、村内美化コンクールや村の花づくり推進事業として各区へ花の苗を助成している。琉球大学が手がける地域美化に関する持続可能なモデル研究事業を琉球大学と連携し、漢那区へカンナの花の苗を植えつけていく予定となっている。村民が自主的に活動できるような景観村づくり条例及び施行規則において、景観村づくり活動団体の認定制度を積極的に啓蒙していく。この制度を周知しながら村内の関係団体及び道路沿いの地域住民などと連携し、村内美化に取り組んでいきたい。

**問**

旧国道宜野座から福山までの両サイドにサンダンカが植えられて非常に好感を持ったが、最近生き生きしていない。枯れている。花の村づくり運動を徹底していく、それを観光に繋げていく、なぜそのような取組が出来ないか。

**答**

副村長

旧国道のサンダンカにつきましては、推進協議会の中においても区に十分管理するようにと伝えていたが、その件については反省し十分連携をとっていきたい。

**問**

道路沿いで一生懸命管理している方は大勢いる。村広報が月一発行されるので、写真など撮り「この場所はこのようなやっていきます。」と紹介しながら住民に浸透させる事はできないか。

**答**

副村長

啓蒙普及はとても大事なことで、努力したい。

**問**

赤土が川に流れ、川から海へ流れ汚れる。産業振興課で取組んでいる現在の状況は。

**答**

産業振興課長

今年から1m50cmの畦の設置事業を始めて、現在8農家に協力頂いている。次年度は一筆ごとに来るか出来ないか農家をお願いしていこうと話を進めている。

**問**

健康づくりの課題と今後の取り組みは。

**答**

村長

本村の健康課題は肥満が全国、県よりも圧倒的に多いことが特徴で高血圧や糖尿病、脂質異常症等を発症するメタボリック症候群の予備軍も多く医療費の全体にも影響している。改善していくためには個人へのアプローチだけではなく、地域、家庭、学校、職場等との連携した食生活や生活スタイルの改善に取り組むことが重要である。

**問**

運動指導士は今年度も配置されているが、活用は。

**答**

健康福祉課参事

ミニデイに派遣し、運動指導を行い、個別の教室も計画し、年明けにはラジオ体操も含め各区との調整を行い実施する計画を持っている。

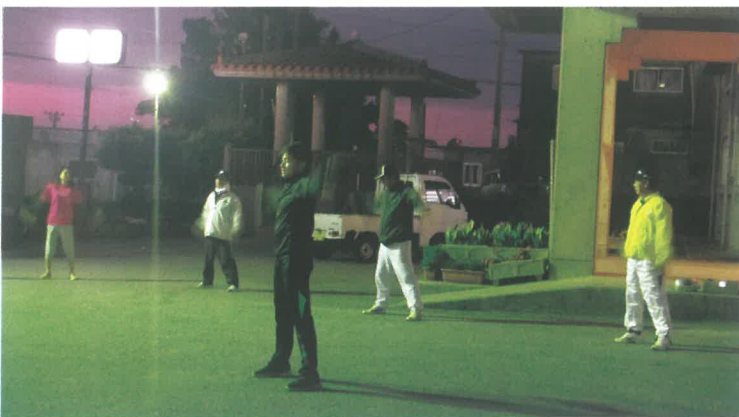
**問**

健康づくりのためにプロジェクトチームは、今回機構改革も含めて力を入れてやる体制は可能か。

**答**

村長

プロジェクトチームをつくるかどうかというのは別だが、資格を持った方をスタッフメンバーの中に入れて総合的に健康づくりに向けて取り組んでいきたいと考えている。



運動指導士による朝のラジオ体操の様子！（惣慶区）

## 平成30年 第8回 臨時会（11月26日）で決まったこと

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第40号	宜野座村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	人事院勧告及び沖縄県人事委員会の給与に関する勧告並びに他市町村の職員の給与改定を考慮し、本条例の一部を改正。	原案可決
議案第41号	宜野座村特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	期末手当の支給割合を改定する国及び宜野座村の一般職の職員との均衡を考慮し、村長、副村長及び教育長の期末手当の支給割合を引き上げるため、本条例の一部を改正。	〃
議案第42号	宜野座村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	期末手当の支給割合を改定する国及び宜野座村の特別職間との均衡を考慮し、村議会の議員の期末手当の支給割合を引き上げるため、本条例の一部を改正。	〃
議案第43号	平成30年度宜野座村一般会計補正予算(第4号)について	歳入歳出それぞれ574万2千円を追加し、予算総額74億2千349万7千円とする。	〃
議案第44号	平成30年度宜野座村国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)について	歳入歳出それぞれ157万7千円を減額し、予算総額9億7千156万8千円とする。	〃
議案第45号	平成30年度宜野座村水道事業会計補正予算(第3号)について	収益的収入2億4千542万8千円に、7万円を増額、収益的支出額を2億4千43万3千円に、7万円を増額とする。	〃
議案第46号	平成30年度宜野座村下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	歳入歳出それぞれ24万5千円を増額し、予算総額1億4千978万9千円とする。	〃

## 平成30年 第9回 12月定例会（12月12日～14日）で決まったこと

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第47号	平成30年度宜野座村一般会計補正予算(第5号)について	歳入歳出それぞれ1億9千658万1千円を追加し、予算総額76億2千7万8千円とする。	原案可決
議案第48号	平成30年度宜野座村国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	歳入歳出それぞれ61万2千円を追加し、予算総額9億7千218万円とする。	〃
議案第49号	平成30年度宜野座村水道事業会計補正予算(第4号)について	資本的収入額241万2千円を増額し、2億7千864万2千円とする。	〃
議案第50号	平成30年度宜野座村下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	歳入歳出予算の総額1億4千978万9千円の予算現額には影響の無い補正。一般財源から特定財源へ組み替える。	〃
議案第51号	宜野座村税条例の一部を改正する条例について	租税特別措置法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正する。	〃
議案第52号	宜野座村職員定数条例の一部を改正する条例について	職員の定数を2人増員(95人から97人)し、農業委員会事務局の職員を1人、村長の事務局と兼務とする。また、育児休業している職員を定数外の職員とするため、本条例の一部を改正する。	〃
議案第53号	村道の路線認定について	沖縄振興公共投資交付金により進めている、村道整備に伴う路線の変更。 起点 字宜野座64-1 終点 字宜野座	〃
議案第54号	村道の路線認定について	沖縄振興公共投資交付金により進めている、村道整備に伴う路線の変更。 起点 字宜野座62 終点 字宜野座12-4	〃
意見書第2号	こどもの医療費助成制度の拡充を求める意見書	こどもの医療費助成制度における本土との格差を一日も早くなくし、対象年齢拡大を早期に実現するよう求める。 提出先：沖縄県知事	原案採択



意見書第3号	こどもの医療費助成制度の拡充を求める意見書	こどもの医療費助成制度における本土との格差を一日も早くなくすためにも国の制度化を早期に実現するよう求める。 提出先：国	原案採択
決議第8号	理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についての決議	小・中高等学校における理科教育環境整備向上のため、理科教育設備整備費予算の積極的な増額予算措置に努めることを決議。	〃
決議第9号	漢那リバーパーク構想に関する調査特別委員会設置決議	漢那リバーパーク構想に関し、調査する必要があるため調査特別委員会を設置する。 委員長：當眞嗣則	〃
決議第10号	議員派遣について	町村議会副議長研修会・新人議員研修会・沖縄県町村議会女性議員交流会・町村議会議員研修会に派遣	〃

## 平成31年 第1回 臨時会（1月22日）で決まったこと

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第1号	平成30年度宜野座村一般会計補正予算（第6号）について	歳入歳出それぞれ260万円を追加し、予算総額76億2千267万8千円とする。	原案可決
議案第2号	村道漢那旧国道線橋梁下部工事（1工区）の請負契約について	契約金額：7236万円 契約の相手方：有限会社 玉城電気設備	〃
議案第3号	村道漢那旧国道線橋梁下部工事（2工区）の請負契約について	契約金額：7128万円 契約の相手方：有限会社 宮城工務店	〃

## 「特集」子どもの環境について考える

宜野座村に限らず、子供たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化している。一昔前までは隣人同士の絆が強く、良いことは誉め、気になることがあれば直接注意し、みんなで見守るなど小地域ならではの仕組みがあった。だが今は、保護者の多くは家庭を守るために懸命に働いているものの、子供たちだけを家に残す不安を抱えたまま仕事に出る。子ども達は親を気遣い心配かけまいと寂しさをこらえるが、愛情不足から様々な問題に絡め取られることがある。そんな保護者や子ども達の助けになりたいという強い思いを抱いたのが、子供たちに関する動機であった。

宜野座村は、子どもを取り巻く環境整備に関して先進地域であると言える。福祉、学校、地域、専門機関の円滑な協働体制が構築されており、問題は深刻化せず、子ども達の精神的な安定が図られている。しかし、未熟さゆえに様々な問題に苦しむ子どもはやはりいる。彼らの成長には、信頼できる大人のモデルが必要であり、多くの大人が手を差し伸べ、耳を傾け、寄り添い理解する「子育て支援」が欠かせない。制度の整備を進める一方で、『子供たちを地域で見守り、育てる』地域力を高めることも重要である。

子ども達の成長のための良い環境構築のために、関係機関と地域住民の共通認識と理解を深めることが本村の当面の課題と言える。



## ■ 新人議員研修会



- 【日 時】平成31年1月31日(木)  
 【場 所】自治会館  
 【研修内容】1. 定例会の運営について  
 2. 一般質問について  
 3. 議員の心構え等について

### 【感想】

22町村、78名の新人議員が集まり、大きく3つの研修を受けた。住民の代表としての姿勢、行動を見直す、とても充実した講義でした。

担当：仲間

## ■ 町村議会議員・事務局職員研修会



- 【日 時】平成31年2月15日(金)  
 【場 所】南風原町立中央公民館  
 【研修内容】市町村行財税制等の状況  
 講師 松永 享 氏  
 (沖縄県企画部市町村課長)  
 参院選、日ロ、沖縄、アベノミクス…など  
 講師 泉 宏 氏(政治ジャーナリスト)

### 【感想】

2部構成の研修。県の松永氏による行政状況説明は、難しかったが詳細な資料を頂いた。大切に読み込んでいきたい。後半の泉氏の講演は時事通信社での40年余の活動から官邸や政党、政治家の裏話、今後の政局の予想等、新鮮で刺激に富み興味深く傾聴した。

担当：津嘉山

# 3月定例会は3月5日(火)からの予定です。

みんなで議会を傍聴しよう。いこうよ!みようよ!考えようよ!



■ 議会だよりに対するご意見など募集しています。

なお、お寄せいただいたご意見は紙面に掲載することがあります。

※詳しくは下記のみなさんへ ☎ 968-8326



※以上のメンバーで、議会だよりを編集しています。

議長 石川 幹 也  
 委員長 津嘉山 朝 政  
 副委員長 仲間 信 之  
 委員 山内 昌 慶  
 委員 新里 文 彦



新里 文彦

130号からオールカラーになりました。村民の皆様が親しみやすく、手にとって読みたいと思うような紙面づくりを心がけ、楽しく分かり易く構成し、広報調査特別委員会一丸となり「住民の目線に立って議会を伝える議会だより」の発行に努めていきたいと思えます。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

編集後記